



日本一、おめでとう!

1月20日・21日に東京で行われた創造アイデアロボットコンテスト全国大会。24チームが出場した全国大会の活用部門の決勝は日吉中学校と茂木中学校。結果は日吉中が優勝し、最高位の文部科学大臣賞を受賞して日本一に輝きました。茂木中も初出場ながらも準優勝で、審査員特別賞を受賞しました。また基礎部門では南中学校がベスト16に輝きました。今回は見事日本一になった、日吉中学校の3人の生徒に話を聞きました。

日吉中学校、ロボコンで全国制覇!



入江 翔平さん
(操縦者)

攻めの気持ちで
操縦しました!

焦らないように操縦することを心掛けました。2年前に先輩たちが日本一になっていたの、僕たちもそうなりたと思って、今まで取り組んできました。家族にいい結果を持って帰ることができて良かったです。

操縦者を的確に
サポートしました!

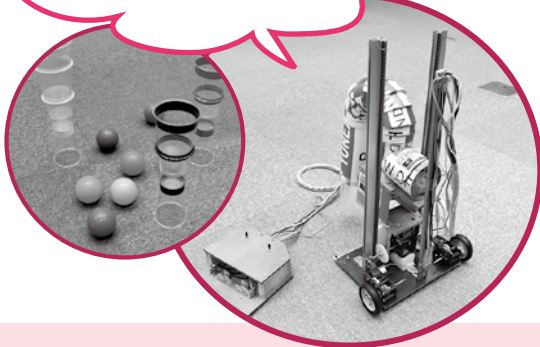


すずな
森 紗菜さん
(アシスタント)

対戦中は入江君に残り時間や現在の得点などをしっかりと伝えました。活用部門で1位になったのもうれしいけど、文部科学大臣賞も受賞することができて本当にうれしかったです。

ココがすごい!

筒の先から複数のボールを吸い上げられるように、ファンを2つ使って、吸引力をアップしています



ロボットをしっかり
アピールしました!

全国大会では、自分たちのロボットをPRする時間があります。2分以内でロボットの良さを伝えるために、何度も話の構成を考えたり、発表の練習をしたりしました。



田川 侑樹さん
(ロボットのPR担当)



茂木中のロボット「もっちー」を披露する(左から)山下さんと成瀬さん

2月6日、日吉中学校と茂木中学校の生徒たちが田上市長を表敬訪問。大会の結果や熱戦の様子を市長に話しました。表敬時には市長の前でロボットの操作を披露。長崎市教育委員会功労賞の授与もありました。

市、県、九州、そして全国大会の全ての決勝で対戦した両校。日吉中の生徒たちは「一番近いところに一番強いライバルがいる」と茂木中の存在の大きさについて話し、一方で茂木中の生徒たちは「日吉中は強かった。来年はもっと腕を磨いて今よりも良い結果を出したい」と意気込みを語ってくれました。

優勝、準優勝の快挙を果たした両校。生徒たちのこれからの活躍が楽しみです。

問い合わせ 教育研究所 ☎ 824-4814